

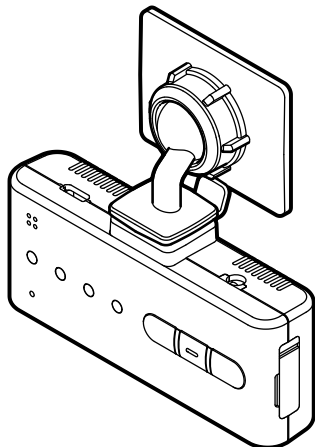
CELLSTAR®

ドライブ レコーダー
DRIVE RECORDER
CSD-500FHR®

取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



microSDカードは
定期的（1週間に1回
を推奨）にフォーマット
してください。

Copyright © 2015-2017 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstariは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

micro
SD

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

もくじ

はじめに

microSDカードのメンテナンス 3

フォーマットの準備 3

本機を単体で使用する場合 3

相互通信対応レーダー探知機と接続している場合 3

相互通信対応レーダー探知機との接続 4

相互通信機能について 4

準備 4

レーダー探知機との接続 4

レーダー探知機の外部入力設定 5

設定の変更方法 6

再生モード 7

相互通信時のパーキングモードについて 8

取り付け方法（相互通信） 8

安全上の注意 9

microSDカードについての取り扱い注意事項 11

使用上の注意 12

録画についての注意事項 12

取り付けについての注意事項 12

パーキングモードについて 12

アイドリングストップ車での使用について 12

専用ビューアソフトについて 12

カメラレンズや端子の金属部分の注意事項 12

本体/付属品 13

付属品 13

オプション品 13

各部の名称と機能 14

取り付けと準備

取り付け方法 15

推奨フロントガラス設置位置（参考） 15

フロントガラスへの取り付け位置（正面） 15

フロントガラスへの取り付け位置（側面） 16

フロントガラスへの取り付け 16

配線処理 17

ヒューズが切れた場合 17

マウントベースから本体を取り外す 17

ダッシュボードへの取り付け 17

microSDカードの挿入および取り出し 18

microSDカードの挿入 18

microSDカードの取り出し 19

基本操作

製品の使用方法 20

電源のON/OFF 20

エラー表示 20

モード切り替え 21

音量調整 21

録画方法 22

録画モードについて 22

クイック録画機能（手動） 23

撮影モードについて 23

パーキングモードについて 24

各種設定

各種設定の変更 25

画像モードの設定（工場出荷時：高画質） 25

音声録音のオン/オフ（工場出荷時：オン） 25

3Gセンサー感度の設定（工場出荷時：標準） 26

ボイスアシストのオン/オフ（工場出荷時：オン） 26

インポーズ表示・記録のオン/オフ（工場出荷時：オン） 27

パーキングモードの設定（工場出荷時：オフ） 27

パーキングモード感度の設定（工場出荷時：標準） 28

フォーマット 28

設定一覧 29

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧 30

画像モード設定「高画質/夜間」時、設定内容一覧 30

その他の機能 31

リアルタイムモニター表示 31

再生モード 31

システムリセット 32

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて 32

専用ビューアソフトの動作環境 32

困ったときは

故障かな？と思ったら 33

その他

製品の仕様 34

microSDカードのデータについて 36

アフターサービス

アフターサービスについて 37

修理に関して 37

修理受付票 38

保証書 裏表紙

microSDカードのメンテナンス

microSDカードに保存されたデータはバックアップして、定期的に本体にてフォーマット（推奨：週1回）して使用してください。外部環境、または長時間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。

フォーマットの準備

付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

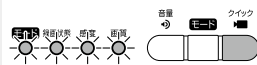
本機を単体で使用する場合

- 1 モードボタンを短押しすると「設定モード」と音声が出力する。再度、モードボタンを長押しし設定モードに切り替え、「フォーマットを開始します」と音声が出力するまで、モードボタンを短押しする。



設定モード中は、本機のモードLEDが赤色で点滅します。

- 2 「ピンポン」と聞こえるまでクイックボタンを長押し、フォーマットを開始する。フォーマット完了後、自動的に常時録画に戻る。



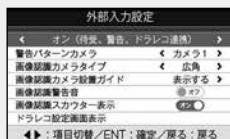
フォーマット中は、本機のLEDが全て黄色で点灯します。

相互通信対応レーダー探知機と接続している場合

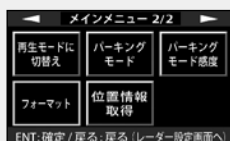
レーダー探知機の画面でリモコン操作をおこないます。この時、本機のボタンでは操作することはできません。



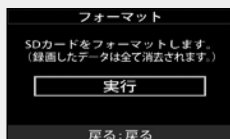
- 1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定」を選びENTボタンを押す。



- 2 ▼▲ボタンを押して「ドラレコ設定画面表示」を選び、ENTボタンを押す。



- 3 ▼▲◀▶ボタンを押してカーソル（水色の枠）を「フォーマット」に移動し、ENTボタンを押す。



- 4 ENTボタンを押して、フォーマットを実行する。確認の画面が表示したら、再度、ENTボタンを押す。

ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示されます。フォーマット中は、本機のLEDが全て黄色で点灯します。フォーマット完了後、自動的に常時録画に戻る。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

相互通信対応レーダー探知機との接続

相互通信機能について

本機と当社製相互通信対応レーダー探知機を当社製レーダー探知機相互通信コード（GD0-06/07）で接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像をレーダー探知機の画面に表示させることができ、レーダー探知機のリモコンから操作できるようになります。また、GPS情報や電源もレーダー探知機より供給されます。

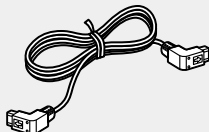
* 撮影モード、クイック録画は、本機のボタン操作となります。（P23参照）

準備

本機能を使用するには、当社製相互通信対応レーダー探知機と当社製レーダー探知機相互通信コードが必要です。

● GD0-06（12V車専用）

レーダー探知機相互通信コード（3.6m）

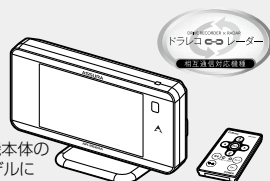


● GD0-07（12V車専用）

レーダー探知機相互通信コード（0.4m）



● 当社製相互通信対応レーダー探知機



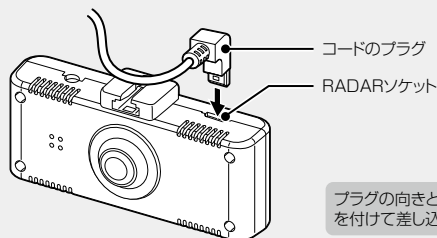
※レーダー探知機本体のイラストは、モデルにより異なります。

注意

- セルスター製ドライブレコーダー専用レーダー探知機相互通信コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- レーダー探知機相互通信コードは12V車専用です。レーダー探知機を24V車に接続した場合、本製品を取り付けしないでください。故障の原因となります。
- レーダー探知機相互通信コードを改造し使用すると、レーダー探知機やドライブレコーダーの故障の原因となります。
- レーダー探知機相互通信コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（プースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

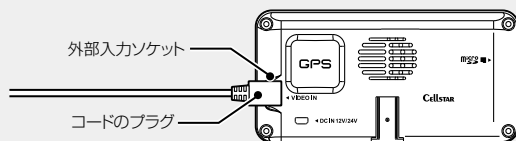
レーダー探知機との接続

- 1 レーダー探知機のDCコードを外し、レーダー探知機本体の電源をOFFにする。
- 2 レーダー探知機相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。

3 レーダー探知機相互通信コードのプラグをレーダー探知機の外部入力ソケットに差し込む。



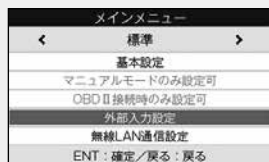
※レーダー探知機本体のイラストは、モデルにより異なります。

4 レーダー探知機のDCコードを差し込み、レーダー探知機本体の電源をONにする。

* レーダー探知機から電源が供給されるため、起動に時間がかかる場合があります。

レーダー探知機の外部入力設定

本機はレーダー探知機相互通信コードでレーダー探知機と接続した場合、レーダー探知機の画面でリモコン操作をおこないます。この時、本機のボタンでは操作することはできません。ご注意ください。



1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定」を選びENTボタンを押す。



2 ◀▶ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す。

・オン（待受/警告/ドラレコ連携）

相互通信機能をオンにします。待受画面を「カメラ」または「カメラ & フルマップ」に設定すると、本機のカメラ映像をレーダー探知機の画面に表示します。

・オン（モニター）

相互通信する場合は選択しないでください。

* モニター中は、リモコン操作ができません。終了するには、**戻るボタン**を押してください。

・オフ

相互通信機能をオフにします。（工場出荷時の初期設定）

⚠ 注意

- レーダー探知機相互通信コードで本機とレーダー探知機を接続し、レーダー探知機のリモコンで電源をON/OFFしても、本機の電源は運動せず、供給し続けます。
- レーダー探知機の電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、本機が再起動します。
- レーダー探知機の電源をリモコンでOFFにすると、本機へのGPS情報の供給がOFFになります。

設定の変更方法

各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

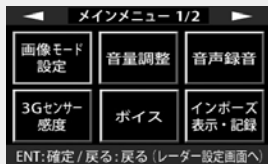
- * 設定中は、録画はできません。
- * 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。



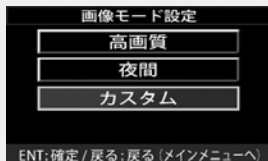
1 **ENTボタン**を押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力設定」を選び、**ENTボタン**を押す。



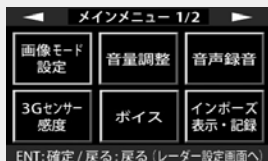
2 **▼▲ボタン**を押して「ドラレコ設定画面表示」を選び、**ENTボタン**を押す。



3 **▼▲◀▶ボタン**を押してカーソル（水色の枠）を変更したい設定項目に移動し、**ENTボタン**を押す。



4 **▼▲ボタン**を押して設定内容を変更し、**ENTボタン**を押す。



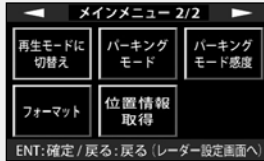
5 引き続き他の設定を変更する場合は、**戻るボタン**を押してメインメニューに戻り、**▼▲◀▶ボタン**を押して設定メニューを選ぶ。

設定を終了してメインメニュー画面または通常画面に戻る場合は戻るボタンを押します。

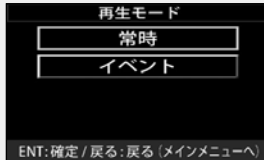
再生モード

本機で記録した映像は、レーダー探知機で再生できます。

* 再生モード中は、録画はできません。



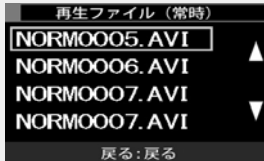
- 1 ドラレコ設定画面表示から、「再生モードに切替え」にカーソルを移動し、**ENTボタン**を押す。



- 2 **【常時】** または **【イベント】** を選択する。

「再生ファイル」画面に切り替わります。

【戻る】: 「再生モード」画面に戻る



- 3 ファイルを選択する。

レーダー探知機のディスプレイで再生が開始されます。再生ファイルが多い場合は、▲▼ボタンを押して、ページをスクロールさせます。

再生中に戻るボタン: 「再生ファイル」画面に戻る

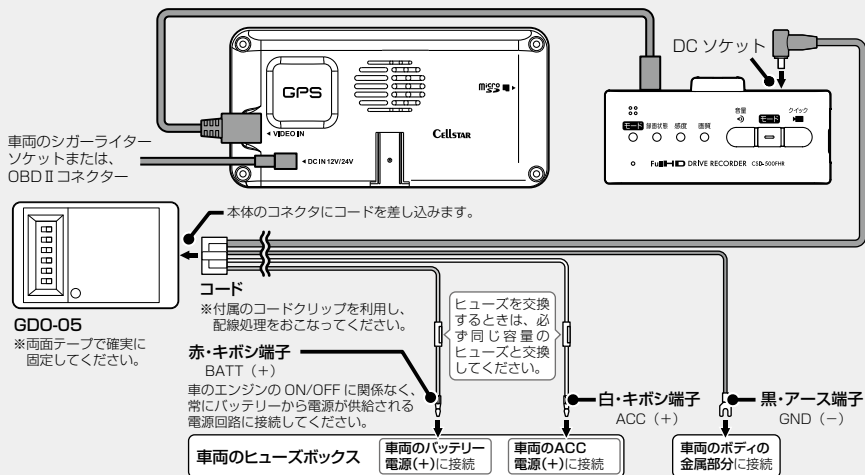
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

相互通信時のパーキングモードについて

エンジンがOFFになり、レーダー探知機から電源の供給がなくなると、GDO-05によって車両バッテリーからの電源供給に切り替わります。また、レーダー探知機からGPS情報の供給もオフになります。

取り付け方法（相互通信）

レーダー探知機相互通信用コードで本機とレーダー探知機を接続した状態で、本機のDCソケットにGDO-05を接続します。



パーキングモードの設定方法はP6、P27を参照してください。




注意

- ・レーダー探知機相互通信用コードで本機とレーダー探知機を接続する場合、オプションの常時電源コード（GDO-05）は必ず本機のDCソケットに接続してください。レーダー探知機のDCソケットに接続いたしますと、レーダー探知機の電源が常時ON状態となり、バッテリー上がりの原因となります。




安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。






- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。








- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

-  本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
-  本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、まためれた手で絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

警告

-  本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態では取り付けたら、感電および故障の原因となります。
-  本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
-  本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
-  本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
-  コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
-  本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
-  本機を長時間動作した場合、レンズ部分や端子の金属部分が発熱します。直接手で触れないでください。

安全上の注意（つづき）

警告

- ⚠ 本機は、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
- ⚠ 電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

- ⚠ 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ⚠ 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ⚠ 本機に相互通信接続したレーダー探知機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。（相互通信接続時）
- ⚠ GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。（相互通信接続時）
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠ フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。（相互通信接続時）
- ⚠ トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグLEDをつけてください。
- ⚠ フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠ LED方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- ⊘ 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- ⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ⊘ 気温の低いところから高いところへ本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCC1-A

microSDカードについての取り扱い注意事項

! microSD カードに保存されたデータは、バックアップして、定期的に本体にてフォーマット (推奨: 週 1 回) して使用してください。外部環境、または長期間使用している間に、データが削除されるおそれがあります。

! microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。

! 付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

! microSD カードの容量によっては、起動時間が変動 (長くなったり) する場合があります。

! 市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、当社は一切の責任を負いません。

! microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。

! microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。

! microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。

* 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。

! 一般的に microSD カードには、寿命があります。(各メーカーにより異なります)

* microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。

! microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。

* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。

! microSD カードを使用する際には、microSD カードのロックは必ず解除してください。

* microSD カードがロックされている場合は、記録、録音できません。

! 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。

* 外部環境、または長期間使用している間に、データが上書きされ消去される場合があります。

! microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。

* 正しく動作しない場合があります。

! 指定の microSD カード以外は使用しないでください。

* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

! microSD カードスロットに異物を入れないでください。

* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。

! 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。

* microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。

! データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。

* microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。

! microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。

* microSD カードが破損するおそれがあります。

! microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。

* microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。

! microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。

* microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。

! 市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。

! microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能を確認したうえでご購入ください。

* 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨)

* 64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス: UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨)

* 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では画面がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間モードまたは夜間補正をおこなった場合、映像にノイズが入っているように見えたり、屋間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- ・必ず、専用ビューアソフトで日時の設定をおこなってください。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書（P15参照）にしたがって、正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本機を取り付ける前に、必ずフロントガラス面またはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態で設定すると、バッテリー上がりの原因となります。絶対におやめください。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>）

カメラレンズや端子の金属部分の注意事項

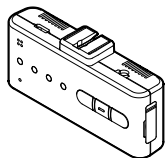
- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分や端子の金属部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分や端子の金属部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



□ドライブレコーダー本体



□マウントベース



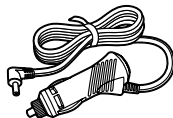
□ボールジョイント
(ダッシュボード用)



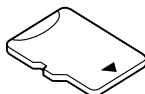
□両面テープ(透明)
(フロントガラス用)



□両面テープ(グレー)
(ダッシュボード用)

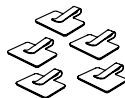


□DCコード

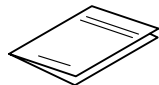


□microSDカード
(専用ビューアソフト入り)

* SDカード変換アダプタ、
SDカードケース付属



□コードクリップ×5

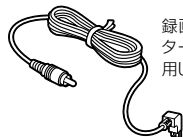


□取扱説明書(本書)

オプション品

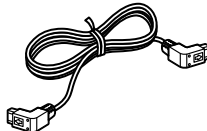
別途お買い求めください。

●GDO-09 ビデオ出力コード



録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P31 参照)

●GDO-06 (12V車専用) レーダー探知機相互通信用 コード (3.6m)



●GDO-07 (12V車専用) レーダー探知機相互通信用 コード (0.4m)



●RO-103 直結配線用DCコード



●GDO-05 常時電源コード(コード付属)

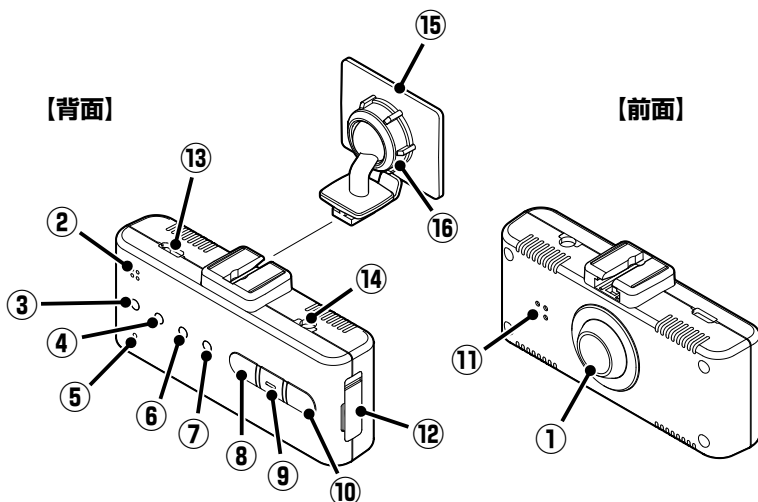


パーキングモード機能を利用する場合に使用します。
最大7時間まで電源を供給します。(P8、P24 参照)

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

各部の名称と機能



① 撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ モードLED (3色LED)

本機の動作状態を表示します。

④ 録画状態LED (3色LED)

録画 / 再生モードの動作状態を表示します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ 感度LED (3色LED)

感度センサーの設定状態を表示します。

⑦ 画質LED (3色LED)

設定された画像モードを表示します。

⑧ 音量ボタン

機能設定や動作に使用します。

⑨ モードボタン

機能設定や動作に使用します。

⑩ クイックボタン

機能設定や動作に使用します。

⑪ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑫ microSDカードスロット

付属または市販の microSD カードを挿入します。

* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑬ RADARソケット (相互通信端子)

当社製レーダー探知機相互通信用コード (GDO-06/ GDO-07) またはビデオ出力コード (GDO-09) を接続します

⑭ DCソケット

DC コードを接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

⑮ マウントベース

付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。

* ダッシュボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (ダッシュボード用) に交換してから取り付けてください。

⑯ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

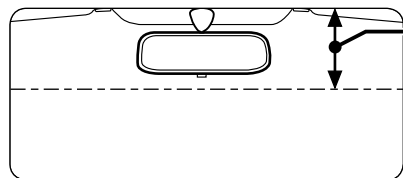
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に付属のDCコードまたはオプションのコード以外のコードを使用しないでください。
- カメラを設置した部分のフロントガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。フロントガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れをしっかりと拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

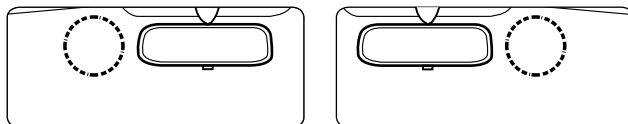
推奨フロントガラス設置位置（参考）

フロントガラスへの取り付け位置（正面）



フロントガラス上部から
フロントガラス全体の20%
以内に取り付けてください。

ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して
ルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

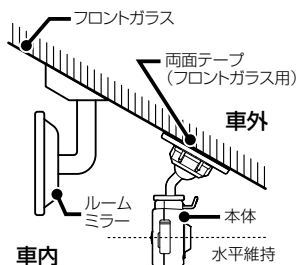
困ったときは

その他

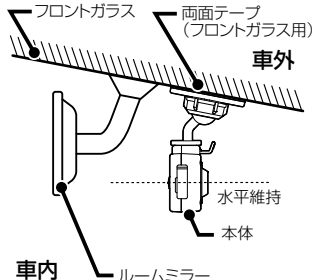
サブタイ
プス

フロントガラスへの取り付け位置 (側面)

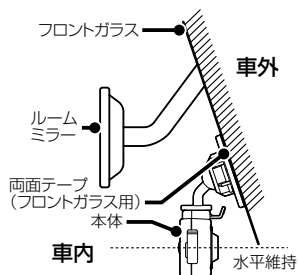
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



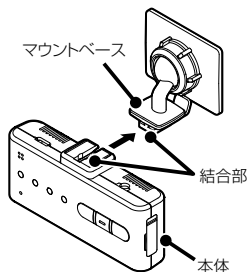
■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

フロントガラスへの取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

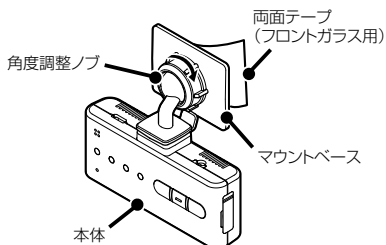


- 2 両面テープ (フロントガラス用) を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。

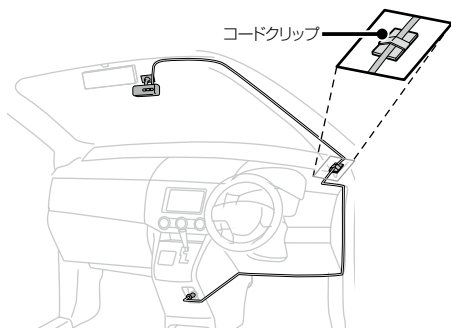


* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

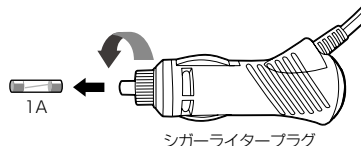


注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

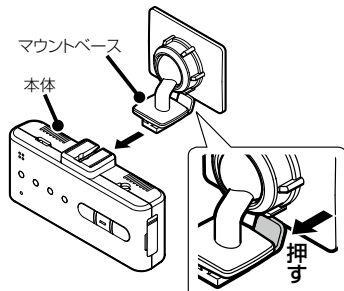
ヒューズが切れた場合

ヒューズ (1A) を交換します。



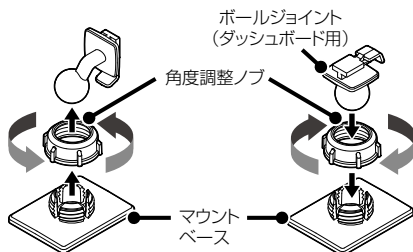
マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



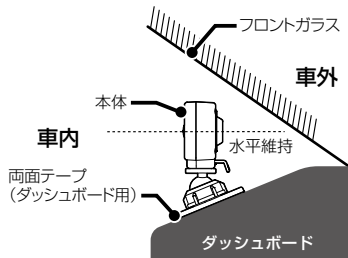
ダッシュボードへの取り付け

マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント (ダッシュボード用) に付け替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

図のように前方を避けることがないように取り付けてください。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

microSDカードの挿入および取り出し

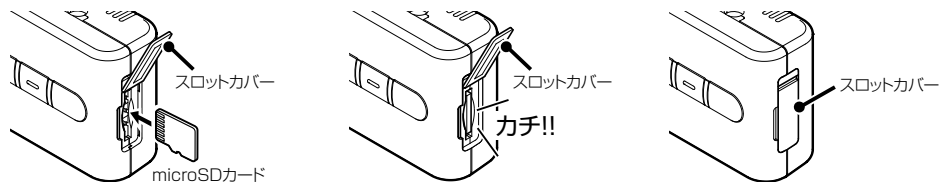
⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- 市販のmicroSDカードを挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。強制フォーマットをおこなってください。(P20参照)
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動(長くなったり)する場合があります。

microSDカードの挿入

* 必ず、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



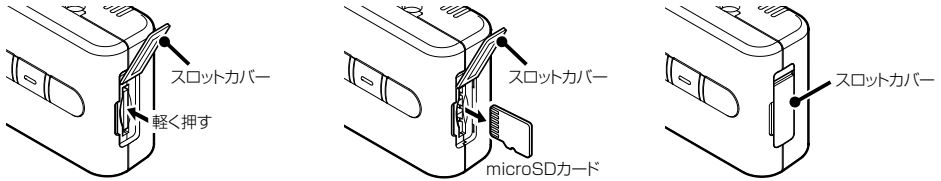
- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

* 必ず、本体のLEDが消灯し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。
- 2 microSDカードを取り出す。
- 3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法

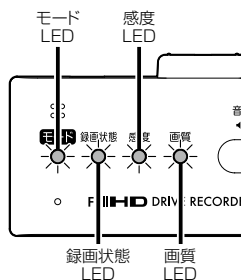
⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 内蔵の時計がズれる場合、専用ビューソフトの設定で日時を調整してください。

電源のON/OFF

基本操作



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

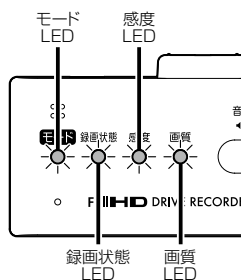
全てのLEDが点灯し、数秒後効果音とボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

- * 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

エラー表示



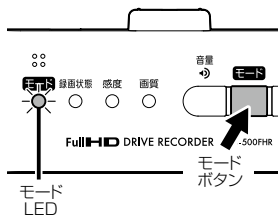
microSDカードが挿入されていない、もしくはカメラの初期化エラーなどが発生した場合は、次のようなLEDの状態とボイスアシストでお知らせします。

	モード LED	録画状態 LED	感度 LED	画質 LED	ボイスアシスト
microSDカード無し	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	あり
microSDカードの異常	黄色点滅	黄色点滅	黄色点滅	黄色点滅	なし
カメラの異常	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	なし

- * microSDカードの異常エラーを表示した場合は、microSDカードを強制フォーマットする必要があります。「ピンポン」と聞こえるまでクイックボタンを長押ししてください。
- * カメラの異常エラーを表示した場合は、本書裏表紙記載のお客様相談窓口までお問い合わせください。

モード切り替え

各モードを切り替えるための機能です。



- 1 本機の常時録画中に**モードボタン**を押す。(1秒以内)
効果音が鳴り、モードボタンを押す度にモードが切り替わります。

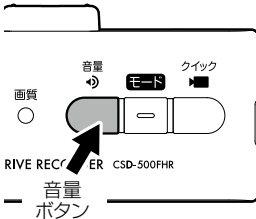
●モードの状態をモードLEDとボイスアシストでお知らせします。

モード	モードLEDの状態
録画モード	赤色点灯
設定モード	赤色点滅
再生モード	黄色点灯
撮影モード	緑色点灯

- 2 切り替えたいモードで**モードボタン**を長押しする。(3秒以上)
再度モードボタンを長押しすると、録画モードに戻ります。
* 1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

音量調整

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



- 1 本機の常時録画と再生モード中に**音量ボタン**を押す。(1秒以内)
音量ボタンを押す度に効果音が鳴り、音量が3→2→1→0→3の順で調整されます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

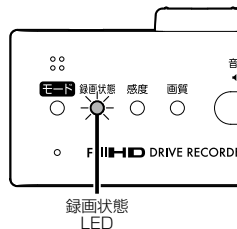
アフターサービス

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時に常時録画が自動的に開始します。

* 記録中の音声を録音しない場合、「音声録音」をオフにしてください。(P25参照)



●録画モードの状態を録画状態LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画状態 LED の状態
常時録画	点滅
イベント録画	速い点滅
パーキングモード	遅い点滅

* 常時録画、イベント録画は、音声録音がオフのとき赤色で点滅します。

* パーキングモード中は、録画状態LED以外は消灯します。

常時録画モードとイベント録画モード

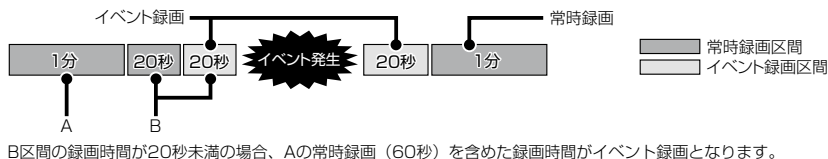
■ 常時録画モード

録画状態LEDが点滅し、1分単位で録画し続けます。



■ イベント録画モード

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、常時録画を中断して、効果音と録画状態LEDが点滅（速い）し、イベント録画ファイル（1回最大2ファイル）を生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



B区間の録画時間が20秒未満の場合、Aの常時録画（60秒）を含めた録画時間がイベント録画となります。

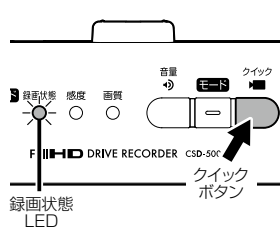
- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P26参照)」で調整することができます。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の70%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。
- * 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、削除した番号をスキップして映像ファイルに番号が付加されます。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。

例) microSDカードの保存先について

録画ファイル	保存フォルダ名	最大保存容量
常時録画ファイル	INFINITE	microSD カード総容量の 70% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
イベント録画ファイル	EVENT	microSD カード総容量の 20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。



- 1 本機の動作中に**クイックボタン**を押す。(1秒以内)
効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。

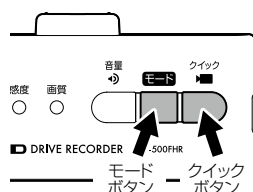
- 録画モードの状態を録画状態LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画状態 LED の状態
クイック録画	速い点滅

- * 録画映像は、ボタンを押した10秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

撮影モードについて

録画映像を手動で撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。（撮影した画像の保存容量は100MBまでになります。）



- 1 モード切り替えて撮影モードにする。

- 2 **クイックボタン**を押す。(1秒以内)
効果音が鳴り、手動にて映像を撮影することができます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

パーキングモードについて

オプションの常時電源コード (GDO-05) を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大7時間本機に電源を供給します。

録画方式は常時録画 (1分単位連続)、常時録画+イベント録画から選択できます。

パーキングモードには、内蔵の3Gセンサーにより、10分以上振動が感知しない場合に作動します。(録画状態LEDが遅く点滅します。) *感度は固定です。

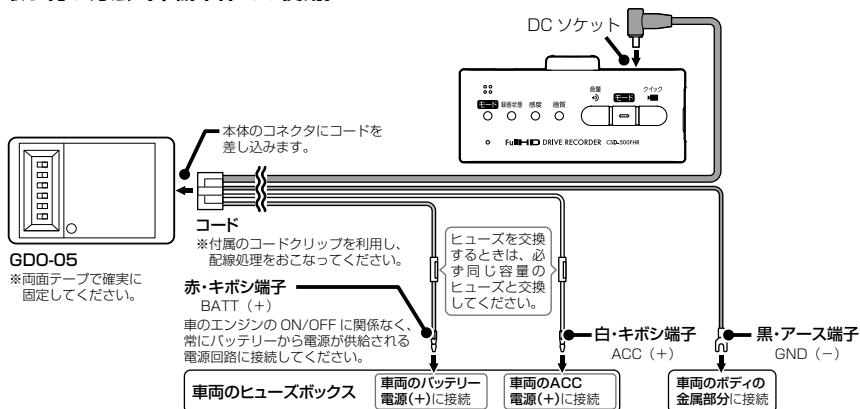
3秒以上連続した振動を感知した場合、パーキングモードを解除します。

パーキングモードを解除する振動の感度はパーキングモード感度にておこないます。(P28参照)

警告

- パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態で設定すると、バッテリー上がりの原因となります。絶対におやめください。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードの設定を「オフ」にして使用しないでください。バッテリー上がりの原因となります。
- パーキングモードは、周囲の状況、走行状況などにより、正常に動作しない場合があります。
- 相互通信対応レーダー探知機と接続する場合、P8を参照してください。

■ 取り付け方法 (本機単体での使用)



* オプションの常時電源コード (GDO-05) に付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。

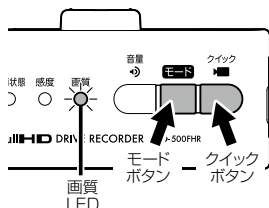
パーキングモードの録画仕様について

画像	D1
画質	低
夜間補正	自動
明るさ	中
コントラスト	中
GPS	オフ

各種設定の変更

画像モードの設定（工場出荷時：高画質）

- 1 モード切り替えで設定モードにし、**モードボタン**を押して（1秒以内）画像モード設定に切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して（1秒以内）画像モードの設定を切り替える。



●画像モードの状態を画質LEDと音声でお知らせします。

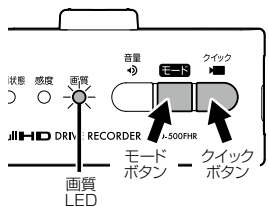
画像モード	画質 LED の状態	設定内容
高画質	緑色点灯 / 点滅	画像モードを高画質の設定にします。
夜間	黄色点灯 / 点滅	画像モードを夜間に適した設定にします。
カスタム	赤色点灯 / 点滅	専用ビューアで設定したお好みの画像モードにします。（専用ビューア説明書参照）

* 設定中は、録画はできません。

- 3 **クイックボタン**を長押し（3秒以上）して設定を確定する。

音声録音のオン/オフ（工場出荷時：オン）

- 1 モード切り替えで設定モードにし、**モードボタン**を押して（1秒以内）音声録音に切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して（1秒以内）音声録音のオン/オフを切り替える。



●音声録音のオン/オフを画質LEDと音声でお知らせします。

音声録音	画質 LED の状態
オン	LED 点灯
オフ	LED 点滅

* 設定中は、録画はできません。

* 画質LEDの点滅スピードは録画時のモードにより変化します。（P22参照）

- 3 **クイックボタン**を長押し（3秒以上）して設定を確定する。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

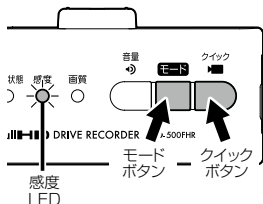
困ったときは

その他

サブタイ
プス I

3Gセンサー感度の設定（工場出荷時：標準）

- 1 モード切り替えて設定モードにし、**モードボタン**を押して（1秒以内）3Gセンサー感度に切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して（1秒以内）3Gセンサー感度の設定を切り替える。



●3Gセンサー感度の設定状態を感度LEDと音声でお知らせします。

感度	感度 LED の状態
高い（設定値 7）	緑色点灯
標準（設定値 5）	黄色点灯
低い（設定値 2）	赤色点灯

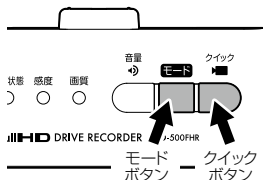
* 設定中は、録画はできません。

* 3Gセンサー感度の設定値は0～9まであります。細かく調整するには専用ビューアによる設定が必要です。（専用ビューア説明書参照）

- 3 **クイックボタン**を長押し（3秒以上）して設定を確定する。

ボイスアシストのオン/オフ（工場出荷時：オン）

- 1 モード切り替えて設定モードにし、**モードボタン**を押して（1秒以内）ボイスに切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して（1秒以内）ボイスアシストのオン/オフを切り替える。



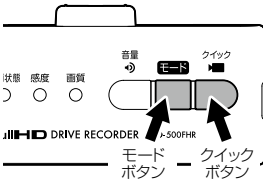
●ボイスアシストの状態を音声でお知らせします。

* 設定中は、録画はできません。

- 3 **クイックボタン**を長押し（3秒以上）して設定を確定する。
* ボイスアシストがオフでも、設定項目と設定状態は常に音声でお知らせします。

インポーズ表示・記録のオン/オフ (工場出荷時：オン)

- 1 モード切り替えで設定モードにし、**モードボタン**を押して (1秒以内) インポーズ表示・記録に切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して (1秒以内) インポーズ表示・記録のオン/オフを切り替える。



●インポーズ表示・記録の状態を音声でお知らせします。

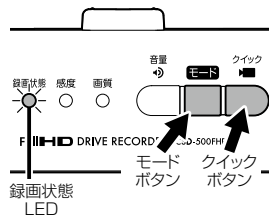
* 設定中は、録画はできません。

* インポーズで記録される日時と録画ファイルの日時にズレが発生する場合があります。

- 3 **クイックボタン**を長押し (3秒以上) して設定を確定する。

パーキングモードの設定 (工場出荷時：オフ)

- 1 モード切り替えで設定モードにし、**モードボタン**を押して (1秒以内) パーキングモードに切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して (1秒以内) パーキングモードの設定を切り替える。



●パーキングモードの状態を録画状態LEDと音声でお知らせします。

パーキングモード	録画状態 LED の状態
オン 常時	緑色点灯
オン 常時、イベント	黄色点灯
オフ	赤色点灯

* 設定中は、録画はできません。

- 3 **クイックボタン**を長押し (3秒以上) して設定を確定する。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

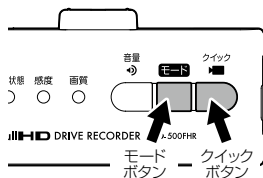
困ったときは

その他

サブメニュー

パーキングモード感度の設定（工場出荷時：標準）

- 1 モード切り替えて設定モードにし、**モードボタン**を押して（1秒以内）パーキングモード感度に切り替える。
- 2 **クイックボタン**を押して（1秒以内）パーキングモード感度の設定を切り替える。



●パーキングモード感度の状態を音声でお知らせします。

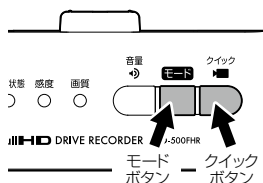
* 設定中は、録画はできません。

* パーキングモード感度の設定値は0～9まであります。細かく調整するには専用ビューアによる設定が必要です。（専用ビューア説明書参照）

- 3 **クイックボタン**を長押し（3秒以上）して設定を確定する。

フォーマット

- 1 モード切り替えて設定モードにし、**モードボタン**を押して（1秒以内）フォーマットに切り替える。
- 2 **クイックボタン**を長押し（10秒以上）してフォーマットを開始する。



●フォーマットの状態を音声でお知らせします。

* 設定中は、録画はできません。

* フォーマット中は、本機のLEDが全て黄色で点灯します。

- 3 フォーマット完了後、自動的に録画モードに戻る。

設定一覧

* 設定値は初期設定のものであります。

メインメニュー	設定値	設定内容
画像モード設定	高画質	高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 夜間 : 録画画質を夜間録画に適した設定にします。
		カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。(P30 参照) 設定方法は、25 ページを参照してください。
音量調整	2	3 : 音量を (大) にします。 2 : 音量を (中) にします。 1 : 音量を (小) にします。 0 : 音量を (無) にします。
音声録音	オン	オン : 音声録音をおこないます。 オフ : 音声録音をおこないません。
3G センサー感度	5	0 : 3G センサーを低感度に設定します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : 3G センサーを高感度に設定します。
ボイス	オン	オン : ボイスアシストをおこないます。 オフ : ボイスアシストをおこないません。
インポーズ表示・記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を表示および記録しません。
再生モードに切替え	—	再生モードの操作方法は、7、31 ページを参照してください。
パーキングモード	オフ	常時 : 常時録画 (1 分単位) します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。 オフ : パーキングモードをおこないません。
パーキングモード感度	5	0 : パーキングモードを解除する 3G センサーを低感度に設定します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : パーキングモードを解除する 3G センサーを高感度に設定します。
フォーマット	—	フォーマットの操作方法は、3、28 ページを参照してください。
位置情報取得	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。

* 位置情報取得を「オフ」にするとインポーズ表示・記録は、日時情報、走行速度のみとなります。

* 設定一覧は相互通信時と専用ビューアでの設定を対象としています。本機を単体で使用する場合はメニュー及び設定内容が異なります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス I

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

設定内容をお好みで変更できます。

* 設定値は初期設定のものであります。

カスタム	設定値	設定内容
画像	D1	FHD : 録画画像を FullHD (1920×1080) サイズに設定します。 HD : 録画画像を HD (1280×720) サイズに設定します。 D1 : 録画画像を D1 (720×480) サイズに設定します。
画質	低	高 : 録画画質を高画質に設定します。 標準 : 録画画質を標準画質に設定します。 低 : 録画画質を低画質に設定します。
夜間補正	オフ	オン : 録画画像を夜間に適した画質に設定します。 オフ : 夜間補正をおこないません。 自動 : 自動で夜間補正します。* 要日時設定
明るさ	中	明 : 録画画像の輝度を最大（明るく）に設定します。 中 : 録画画像の輝度を標準に設定します。 暗 : 録画画像の輝度を最小（暗く）に設定します。
コントラスト	中	高 : 録画画像のコントラストを最大に設定します。 中 : 録画画像のコントラストを標準に設定します。 低 : 録画画像のコントラストを最小に設定します。

* 相互通信時はリモコンの戻るボタンを押すと、1つ前のメニューに戻ります。

* 本機を単体で使用した場合、本機の操作から画像モード設定「カスタム」時の設定内容を変更することはできません。

画像モード設定「高画質/夜間」時、設定内容一覧

設定内容は変更できません。

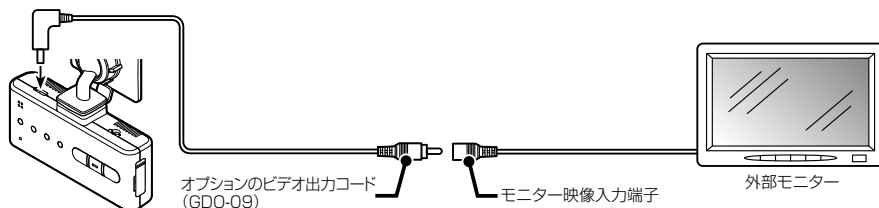
設定内容	画像モード設定	
	高画質	夜間
画像	FHD	HD
画質	高	標準
夜間補正	オフ	オン
明るさ	中	明
コントラスト	中	高

その他の機能

リアルタイムモニター表示

オプションのビデオ出力コード (GDO-09) を使用して外部モニター、当社製レーダー探知機相互通信用コード (GDO-06/GDO-07) を使用して当社製相互通信対応レーダー探知機に接続すると、現在録画されている映像をリアルタイムで表示できます。(映像のみ、音声は出力されません)

●外部モニターとの接続方法

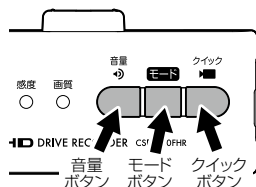


- * 必ずオプションのビデオ出力コード (GDO-09) または当社製レーダー探知機相互通信用コード (GDO-06/GDO-07) をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一瞬画面が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

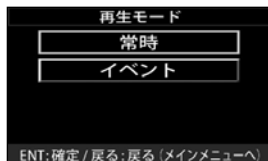
再生モード

⚠ 注意

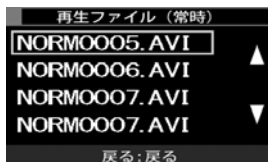
- 再生するには、オプションのビデオ出力コード (GDO-09) を使用して外部モニター、当社製レーダー探知機相互通信用コード (GDO-06/GDO-07) を使用して当社製相互通信対応レーダー探知機に接続する必要があります。
- 再生モード中は、録画できません。
- 相互通信時の再生モードは、レーダー探知機のリモコンで操作してください。(P7参照)



1 モード切り替えで再生モードにする



2 音量ボタン、クイックボタンでカーソルを移動し、【常時】または【イベント】を選択し、モードボタンで決定する。



3 音量ボタン、クイックボタンでカーソルを移動し、モードボタンで記録映像を再生する。

再生停止 (リストに戻る) : 音量ボタンまたは、クイックボタン短押し
再生モード画面に戻る : ファイル選択画面で音量ボタンまたは、クイックボタン長押し
録画モードに戻る : モードボタン長押し

* ファイルは、記録された時間の順に表示されます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

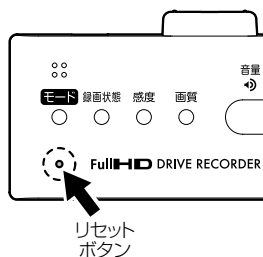
困ったときは

その他

サブメニュー

システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

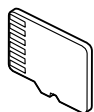
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows Vista / 7 / 8 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



付属の microSD カード

[viewer]

[setup.exe]

[専用ビューア説明書.pdf]

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。
「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。
専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。 	P17、P20
	<ul style="list-style-type: none"> シガーライターソケットにタバコくずが付着していませんか。付着している場合は、タバコくずなどをきれいに拭きとってください。 	—
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。 	P18
	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。 	P11
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSD カードをご使用ください。 	P11 P18-P19
	<ul style="list-style-type: none"> microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 * microSD カードをフォーマットしてください。 	P3、P28
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none"> 「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。 	P26、P29
ひんぱんにイベント録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none"> 「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをお勧めします。 	P26、P29
映像にノイズが入って録画される	<ul style="list-style-type: none"> 夜間モードまたは夜間補正をおこなっていませんか。明るさの感度が高くなり、ノイズが入っているように録画されることがあります。 	P29-P30
昼間の映像が白っぽく録画される	<ul style="list-style-type: none"> 夜間モードまたは夜間補正をおこなっていませんか。明るさの感度が高くなり、白っぽく録画されることがあります。 	P29-P30
再起動する	<ul style="list-style-type: none"> 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 	—
欠落した番号の映像ファイルがある	<ul style="list-style-type: none"> SDエラー監視機能によりエラーデータを削除した場合、エラーデータの番号をスキップして映像ファイルに番号を付加します。 	P22
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none"> 日時、車両の走行速度、位置情報は、実際の数値と異なる場合があります。 	—
内蔵の時計がズれる	<ul style="list-style-type: none"> 専用ビューアソフトの設定で日時を調整してください。 	—

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス I

製品の仕様

■CSD-500FHRの仕様

車外撮影用 カメラ	撮像素子	500万画素 CMOSカメラ
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 110°、垂直 64°、対角 140°
	F 値	2
	最低被写体照度	5LUX
録画画素数		200万画素 (FullHD) / 100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 102°、垂直 62°、対角 120°
	HD	水平 102°、垂直 62°、対角 120°
	D1	水平 76°、垂直 55°、対角 94°
録画圧縮		録画 AVI (H.264)、静止画 JPG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画
GPS		無し
3G センサー		有り (-2G から +2G 衝撃感度 10段階)
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨) 64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス: UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨)
記録データ		日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル *当社製相互通信対応レーダー探知機との相互通信接続が必要
音声録音		有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力		有り
電源電圧		DC12V/24V
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃
サイズ		85 (W) × 18.5 (D) × 35 (H) mm (突起部含まず) *マウントベース取り付け時 66 (H) mm
本体重量		44g

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■撮影可能時間の目安

常時録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 55 分	約 70 分	約 85 分
	HD	約 100 分	約 140 分	約 235 分
	D1	約 355 分	約 485 分	約 715 分
16GB	FullHD	約 115 分	約 140 分	約 175 分
	HD	約 200 分	約 280 分	約 470 分
	D1	約 710 分	約 945 分	約 1420 分
32GB	FullHD	約 235 分	約 280 分	約 355 分
	HD	約 405 分	約 565 分	約 945 分
	D1	約 1420 分	約 1895 分	約 2845 分
64GB	FullHD	約 480 分	約 575 分	約 720 分
	HD	約 820 分	約 1150 分	約 1920 分
	D1	約 2880 分	約 3840 分	約 5760 分

イベント録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 15 分	約 20 分	約 25 分
	HD	約 25 分	約 40 分	約 65 分
	D1	約 100 分	約 135 分	約 205 分
16GB	FullHD	約 30 分	約 40 分	約 50 分
	HD	約 55 分	約 80 分	約 135 分
	D1	約 200 分	約 270 分	約 405 分
32GB	FullHD	約 65 分	約 80 分	約 100 分
	HD	約 115 分	約 160 分	約 270 分
	D1	約 405 分	約 540 分	約 810 分
64GB	FullHD	約 135 分	約 160 分	約 205 分
	HD	約 235 分	約 325 分	約 545 分
	D1	約 820 分	約 1095 分	約 1645 分

撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画および音声（1回最大2ファイル）、クイック録画機能で録画した動画を保存します。（microSDカード全体容量の20%を使用）
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。（microSDカード全体容量の70%を使用）
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。100枚（約35MB）

■その他のファイルについて

- _system.cfg
PC Viewerの環境設定を_system.cfgファイル形式でmicroSDカードに保存し、本機は初期起動時にこの設定情報を読み込み適用します。
_system.cfgファイルがない場合は、基本設定を適用します。
- timeset.txt
任意時間（RTC）を保存します。

■SDエラー監視機能について

録画実行中にSDエラーが発生するかを監視して、記録時にSDエラーをキャッチすると再起動後、自動的にエラーデータを削除します。

- * SDエラー監視機能でもファイルシステムを修復できない場合があります。定期的（1週間に1回を推奨）にmicroSDカードをフォーマットしてください。

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P38参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P38参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAX をご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P33参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P38参照）に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

フリーダイヤル

【受付時間】 9：00～17：30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）
携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先 セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145
三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報のご利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報のは次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

修理受付票

製品名：CSD-500FHR

ご依頼される前に必ず取扱説明書(本書)をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中で連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他 ()
ご購入日：	microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認
同梱した付属品：合計 () 点	・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。
①	本項の内容について同意します。ご署名
②	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要 () 円以上の修理の場合に連絡
③	※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
④	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する
⑤	できるだけ詳しくご記入ください。
⑥
⑦
⑧
修理品返却先	※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。
お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P38参照）も併せてご記入ください。

製品名：CSD-500FHR	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱いによって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保管ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきましては、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願ひ 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

フリーダイヤル（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルが

ご利用になれない場合：046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

■東北地区 セルスター工業（株）仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100（代）/ FAX.022-218-1110

■関東地区 セルスター工業（株）本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32
TEL.046-273-1100（代）/ FAX.046-273-1106

セルスター工業（株）水戸出張所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911（代）/ FAX.029-255-1420

■東海・北陸地区 セルスター工業（株）名古屋営業所
〒464-0025 愛知県名古屋千種区桜が丘295番地
第8オオタビル4F
TEL.052-789-0099（代）/ FAX.052-789-1510

■関西・中国・四国地区 セルスター工業（株）大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880（代）/ FAX.072-722-5575

■九州地区 セルスター工業（株）福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101（代）/ FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社